

視聴覚教育

NO. 293

発行日
15. 6. 11

発行
岡崎市AVL
編集

現職教育委員会
学習情報部

図書館の活性化に！

図書館情報システムの構築

岡崎市立矢作中学校 坂田 健一

各学校の図書館担当者の間では以前より、図書館管理システムを導入して、コンピュータ処理による蔵書のデータベース化・貸し出しの効率化を求める声が多かった。しかしながら、教員にかかる作業の負担とその価格から、多くの学校は手つかずになっていたのが実情である。

本年度に入って12学級以上の全ての小・中・高校に一人、司書教諭が配置されることになった。それに伴い本校では、司書教諭を中心に運営するシステム『情報BOXアプリ&サーバーVer.4.0』を導入した。このシステムを使うと、蔵書を登録する際、ISBNコードを入力するだけで、膨大なデータベースから、書名・作者名・出版社などの情報を読み込み、瞬時に登録できる。新刊については、カバーについているバーコードをリーダーで読みとれば、瞬時に登録が完了する。本校の司書も、すぐに新刊本の受け入れ処理を済ませることができた。生徒に

視聴覚用語
『ファイアーウォール』
LANの外部からの不正なアクセス要求を防ぐため、それを受け付けないしくみ。ウイルスチェクソフトに簡易版のファイアーウォールソフトが同梱されていることがある。

は、一人一人に貸し出しカードが発行され、貸し出し時にやはりバーコードを読み込めば終了と、煩雑な貸出業務からも開放された。

サーバー型システムのため、校内LANやOKネットを活用すれば、離れた端末からも蔵書にデータを引き出すことができる。さらには、このシステムを導入した他の施設や学校ともデータのやりとりができ、蔵書情報の交換など、活用方法はさらに広がる。

現在、矢作中は蔵書の登録中である。1学期中にはこのシステムで本の貸し出しが始められるよう、保護者のボランティアの方にも手伝っていただきながら、急ピッチで作業を進めている。



|| 視聴覚教育あれこれ ||

(財)松下視聴覚教育研究財団

平成15年度視聴覚教育研究助成

「岡崎市情報教育推進委員会」

が受賞！

○ 研究課題

『マルチメディア機器の特性を生かした、インタラクティブな社会科地域学習教材の開発』
小学校マルチメディア郷土資料の制作と
その活用』

○ 研究の内容

小学校の三・四年生の社会科では、児童に身近な「郷土」を学習する。これまでの「郷土読本 おかざき」や自作ビデオの映像資料を基にして、インタラクティブな活用が可能なマルチメディア教材(パソコンソフト)を加えることが有効であると考えた。

マルチメディア化された教材では、学習者一人一人にあった速さでの資料提示ができるほか、学習者の要求に合わせて資料を提示したり、パソコンソフトの持つ表計算機能を利用してデータのグラフ化をしたり発表資料のプレゼンテーション化が容易である。

「私たちの暮らしと人々の仕事」「郷土にたつたる願い」「安全で健康な暮らし」をテーマ資料とし、より利用しやすい形に統合して一つの作品としての完成をめざす。マルチメディア機器がより有効利用できるような教材の開発に関する研究である。

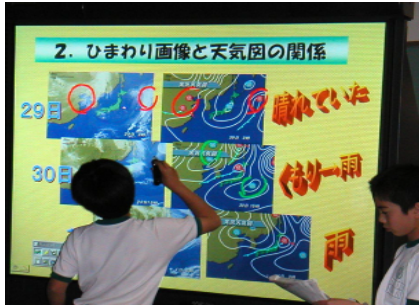
実践報告Ⅱ

デジタルボードで発表授業

岡崎市立岡崎小学校 稲垣 裕子

五年生理科「天気の変化」で、調べ学習に必要な資料を集め、パワーポイントにまとめて発表し合う活動を行った。児童は、インターネットから雲画像を毎日集めて、雲が西から東へ動いていく様子をとらえたり、連続した雲の動画を取り込んで、雲の動きが一目でわかる発表資料を作り上げたりした。さらに、インターネットだけでなく、自分の目で空を観察しようとした児童は、ビデオのインターバル録画機能を使った。十分ごとに0.5秒録画できるもので、十二時間が三十秒ほどの映像になり、雲の流れを分かりやすく見ることができた。

発表で、デジタルボードとタッチペンを活用した。この学習で、特に目を向けさせたいのは、雲の動き方である。図や写真、ビデオなどの画像を写し、そこに書き込みをしながら説明することができた。動いた雲や天気図の記号に印を付けると、より分かりやすく伝え合えた。ボードにペンで書き込んだままの画面も印刷できるので、児童が自分や友達の学びを振り返ることもできる。また、発表側も聞く側も、意欲と興味を持って、話し合いに参加できた。今後も様々な学習面で、デジタルボードを活用していくつもりである。



Ⅱレッツ・トライⅡ

フリーソフト「いっばい」の「教育のページ」

一年から六年までの計算や漢字のフリーソフトがそろっている鈴木茂氏の「教育のページ」を紹介する。

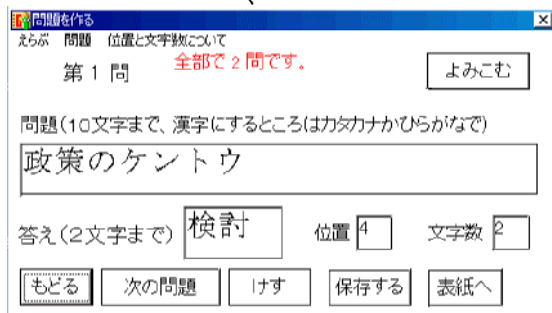
「よみかきくん一年〜六年」の「読み」では、ソフトキーが表示され、読みを入力すると自動で答え合わせができるようになっていく。マウスで漢字を書き、「確かめる」キーを押すと正しい答えが表示され、「練習キー」で漢字のなぞり書きの練習もできる。全年の漢字が入力されているそうだが、新しく問題を作ることもできる。

「算数ならおまかせ一年〜六年」では、その学年で学習する整数や小数、分数十問の計算練習ができる。学習者を決めて、個人ごとに成績を保存しておくこともできる。

その他、生活科の学習で使用する「かんたんマップ」、理科の「星の動き」など多くのソフトが登録されている。パソコン教室の更新で出てきた旧型パソコンに入れておきたいソフトがいっぱいある。一度利用してみたい。

<http://www.2s.biglobe.ne.jp/~s.sigeru>

(六名小 学習情報指導員 杉浦 修)



ライブブリーだより

●16ミリ映写機検定のお知らせ

平成十五年度の16ミリ映写機の検定を行います。日時は、六月十八日(水)午前九時三十分から午後三時まで。岡崎市立図書館裏の駐車場を実施します。

映写機を所有している学校や企業で、昨年度検定を受けられなかったところが対象です。

整備不良や未検定の映写機での上映はフィルムを痛めますので、ライブブリー所有の16ミリ映画は借りることができません。

また当日、簡易な整備、清掃を行いますので、連絡のあったところはご持参ください。

●中学校総合体育大会ビデオ完成

五月十七日に開催された中学校総合体育大会の様子を総集編としてビデオにまとめました。県営グラウンドでの全ての学校の入場行進、陸上競技、柔道、サッカー、ソフトテニス、バスケットボール競技の一部が記録されています。時間は三十二分です。ダビングを希望される学校はライブブリーへご連絡ください。

●視聴覚教材制作のお手伝い

ライブブリーでは、効果音の挿入やTP作成などの教材づくりのお手伝いをしています。スタッフに気軽にご相談ください。